



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

〒960-1295 福島市光が丘1番地 / TEL (024) 547-1111 ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.php>

乳腺外科部長としての抱負

乳腺外科 部長 大竹 徹



平成25年5月1日付けで附属病院乳腺外科部長を拝命いたしましたのでご挨拶申し上げます。

当院には最先端の治療を受けるべく県内外から多くの乳がん患者が訪れます。院内がん登録実績では、乳がんは年間約250例と男女合わせても最も多い疾患の一つです。外来化学療法センター利用状況においても毎年延べ約1,000例の乳がん患者が薬物療法を受けています。

乳がんは30歳代半ばから50歳代の働き盛りの女性に多い特徴がありますが、我々は日々増え続ける乳がん患者のために多様な角度から支援体制を構築しています。

乳がん診療は検診、診断、手術治療、薬物療法、放射線療法、緩和療法などの分野を集学的に組み立てる必要があります。その一端として特に薬物療法や緩和療法では臨床腫瘍

センターや緩和ケアチームと密接な連携をしています。また本学は伝統的に乳がんの基礎および臨床研究を専門としており、将来の乳がん診療を担う乳腺専門医を輩出する教育施設でもあります。乳腺専門医は乳がん検診で重要なマンモグラフィ、乳房超音波、画像ガイド下吸引針生検など高度な診断技術を会得し、県内各地の乳がん診療で指導者の役割を果たしています。さらに最適な手術治療法や術前術後薬物療法の立案など、早期診断から治療まで包括的に乳がん患者を支援しています。

当院は地域から大きな信頼と期待を寄せられ、県内の乳がん診療における中心的役割を果たしています。こうした現況は本学の長い歴史の中で少しずつ培われてきた成果ですが、今後は乳がん患者を中心に多職種が集結し質の高いチーム医療を実践することで、より専門的で人間味あふれる乳がん診療体制の構築に尽力する所存です。皆様方の温かいご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

第23号のなかみ

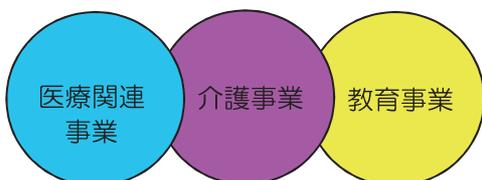
- 2ページ……○マナーを守りましょう
 - 平成25年度高校生看護一日体験
 - おこめ
- 3ページ……○こどもの心診療センターのご紹介
 - 「パンダハウス」チャリティーバザーが開催されました
 - 皮膚科外来改修工事について
- 4ページ……○思いやり駐車場のご利用について
 - あなたの健康、見守ります。

福島県病院給食連合研究大会 優良調理師表彰

平成25年6月18日、第53回福島県病院給食連合研究大会が会津若松市で開催され、当病院からは、齋藤理恵子調理師が優良調理師として表彰の栄誉を受けられました。

齋藤さんには19年の長きにわたり、医事課栄養管理係に勤務し、病院調理師として他の職員の模範的存在として、誠実に職務を全うして患者給食に携わってこられました。食事は治療の基本であり、入院生活の中では患者さんにとって唯一の楽しみです。これからも健康に留意されてますますのご活躍を期待します。

全国展開するニチイの3つの事業



株式会社 ニチイ学館

福島市栄町6-6 UNIXビル3F
TEL 024-524-2835 Fax 024-522-0306

マチのほっとステーション
LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店 (エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店 (7号館内)

マナーを守りましょう

退院時アンケートなどで、携帯電話のマナーについてのご意見が多く寄せられております。

当病院では、次の場所を除いて、病院内で携帯電話を使用することができますが、周りの患者さんの迷惑にならないよう、注意事項を守って使用してください。

○使用を禁止している場所（必ず電源を切らなければならない場所）

外来診察室 救命救急センター 内視鏡診療部
リハビリテーションセンター 人工透析センター
総合周産期母子医療センター 各種撮影室
各種検査室 集中治療室 手術室

○会話を禁止している場所（メールのみでできる場所）

病室（個室は除く） 外来診察室の中待合室

○携帯電話を使用する際の注意事項

- ① 病院内では必ずマナーモードにしてください。
- ② 使用禁止場所では、電源を切ってください。
- ③ 人ごみでの使用はさけてください。
- ④ 病室（個室は除く）での使用は、メールのみにしてください。
- ⑤ 消灯時間後は、使用禁止とします。
- ⑥ 使用可能な場所であっても、大きな声での会話で周りに迷惑を与えないようにしてください。
- ⑦ 病院職員から、使用に関して指示があった場合は、その指示に従ってください。



平成25年度高校生看護一日体験

看護部 尾形 瑞子



今年度も福島県看護協会では、21世紀を担う県内の高校生を対象に「看護体験を通して、人々の生命を守る大切な仕事である

ことの理解を深め、看護に対するイメージを持つことにより、看護の関心を高める」ことを目的に「高校生看護一日体験」が行われました。当院でも今年は県北地区の高校生

21名（男子1名を含む）を受け入れ看護体験をしてもらいました。参加者のほとんどが自らの希望で、また看護師の仕事の内容を知りたいと参加されていました。高校生からはあこがれのユニフォームを着て、病棟で看護師とともに看護を体験することができ、より看護師になりたいと強く思うようになったと言う声が聞かれました。またこの体験を通して、患者さんの安全を考え、忙しい中でも笑顔を忘れず看護している姿に感動しました、などの感想もあり、私たちスタッフも高校生から元気をもらうことができ、大変有意義な一日となりました。

おこめ

医事課栄養管理係 栄養技師 飛松 聡



「藪入り」という落語（丁稚奉公から、年に1日の休みに実家に戻ってくる子供と、それを迎える両親の温かなやり取りを表した話）にこんなくだりがあります。「なあ、おっかあ、野郎（子供）が帰って

きたら、あったかいおまんま食べさせてやんなよ。ひやなんか食べさせるんじゃねえよ」。同じく「子別れ」という話（浮気をした亭主が妻と別れるが、最終的に子供のおかげでよりを戻すお話）には、主人公が浮気相手の女郎に御飯を炊かせようとして、こんな返しをされています。「お前さんがおまんま炊きなよ。うまいじゃないか、おまんま炊くの。昨日のおまんま、少し硬かったよ」

昔からおこめは日本人の主食として食べられ、品種改良が行われたり、炊き方にこだわったりと様々な工夫が

施されてきました。これほど少しでもおいしく食べたいという日本人の心を映した食材はなかなか無いように思います。

「今日のこめ、なんか水吸いすぎるんだけど」「碎けるの多いんだけど、業者替えた？」など、少しでも異変があると厨房の調理師さんから声がかかる。医大病院の厨房でも、米に携わる方々の思いがひしひしと伝わってきます。

患者さんに、おいしいとって食べてもらえるよう栄養士も、調理師も日々精進を重ねています。今後も、医大病院は三度三度の御飯を心を込めて丁寧につけてまいります。



医大病院の御飯の炊飯釜です。
1つで約70人分炊けます。



こどもの心診療センターは2009年11月11日に、医学部小児科学講座および神経精神医学講座により開設されました。特徴は国内では前例のないリエゾン精神医学の形態を実践している点です。すべての初診患者について1人あたり3時間の診察時間を確保しています。診察後ただちにカンファレンスを行い、治療方針を決定します。センター長は細矢光亮小児科学講座教授、副センター長は筆者です。歴代参加メンバーは、小児科医師（加藤朝子、石井佳代子、鈴木雄一）、精神科医師（板垣俊太郎、沓沢有希子、曾田恵美、及川友江、増子博文）、臨床心理士（鈴木理絵、後藤沙織、高橋高人、松本貴智、山本佳子）です。鈴木雄一医師は2010年東京都府中市に新設された東京都立小児総合医療センター小児科（心療小児科）で常勤医師として1年間研修しました。開設に先立ち、本邦ではじめての独立した児童精神医学の診療部門である信

州大学医学部附属病院・子どものこころ診療部見学をしました。

震災後の対応も行っています。放射線医学県民健康管理センターによる県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」部門に参加し、支援が必要な対象者への三次対応を分担しています。厚生労働省科学研究費補助金を得て「被災と子どものこころの長期的健康調査」を岩手県・宮城県とともに行っています。また、エコチル追加調査として、東日本大震災後の「子どものこころの発達」に関する調査も行われています。これらの結果を、平成25年10月23日に行われる第64回精神保健シンポジウム「福島の再生とメンタルヘルス」で報告する予定です。

発達障害（自閉症・ADHD）、不登校、いじめによる自殺、摂食障害、心身症を中心とする診療ニーズ増加に加えて、震災後のニーズの拡大があります。予約状況は2、3か月待ちであり、ニーズに対応するための体制を構築することが今後の課題です。

「パンダハウス」チャリティーバザーが開催されました

8月6日～7日の2日間、病院玄関ホールにおいて「NPO法人パンダハウスを育てる会」によるチャリティーバザーが開催されました。バッグや小物、アクセサリなど会員による手作りの品々が展示されました。おかげさまで、たくさんの方にご来場いただき、大変盛況のうちに終了いたしました。

「パンダハウス」は医大病院の小児科に入院中の患者さんとそのご家族に“もうひとつのわが家”としてご利用いただけるようにと福島市蓬萊町に設立された宿泊施設です。現在では小児科に限らず、医大病院に入院・通院中の患者さんとそのご家族に外泊や休息のため広くご利用いただいております。

「パンダハウス」は会員会費、今回実施されたバザー収益、一般の方からの募金、ボランティア・スタッフによるサポー

トにより運営されております。今後とも、パンダハウスへのご理解をいただきますようお願いいたします。

なお、次回のチャリティーバザーは平成25年12月頃を予定していますので、是非お立ち寄りください。



NPO法人パンダハウスを育てる会事務局

024-548-3711

皮膚科外来改修工事について

総務課施設係

総務課施設係では、病院施設の改修や維持管理を担当しています。平成25年度には機能性の向上とプライバシーの確保を目的に、病院棟2階皮膚科外来の改修工事を行いました。

改修前は診察室の分散による複雑な動線や患者さんとスタッフ用動線の混同などの理由により、使いやすさ等に課題がありました。

そこで、空間を有効活用するために部屋の配置の見直しを行い、各用途の部屋を明確に分離する計画としました。具体的には通路の両側に診察室・処置室・採血室を配置することで、患者さんにとって単純明快でわかりやすい動線としました。さらにスタッフへの配慮としては、診察室後方にスタッフ専用通路を設け、円滑な移動を可能にしました。部屋の仕切りはカーテンをスチールパーティションに改修し、ドアは全て引戸にしました。内装仕上げや照明・空調も更新し、居住性の向上を図っています。

なお、本工事では工事中も診療を継続できるよう、工事エリアを5つに分割し、工事が終わったところから順次使用できるように計画しました。工事によって診療に支障が出ないように、騒音や振動の出る作業は平日の夕方・土日に集中して行うこととし、粉じん等が拡散しないように工事エリアを区画する仮間仕切り壁を設置しました。

工事期間中は皆様方に多大なご迷惑をお掛けしましたが、ご協力をいただき感謝申し上げます。総務課施設係では、より安全で使いやすい施設となるよう努力して参りますので、工事等に際しまして、今後ともご理解とご協力をお願い致します。



改修後

思いやり駐車場のご利用について

当院では、歩行が困難な方のために思いやり駐車場を設けています。思いやり駐車場を利用するためには、入場の際に思いやりカードが必要です。カードは、ご自分で運転される方が対象です。ただし、付添の方でも目が離せない方のためにご利用される場合には、対象となります。

思いやりカードのご利用手続きは守衛室にて行うことができます。その際、通院されている方のご本人確認のご協力をいただいております。カードの有効期限は、1年間です。ただし、妊婦の方は6ヶ月です。更新手続きは、カー

ドを持参のうえ、新規の場合と同様に守衛室にて行うことができます。

思いやり駐車場は、台数に限りがありますので、満車の時は、一般外来駐車場をご利用願います。また、本当に歩行が困難な方にご利用いただくために、利用する必要がなくなった場合には、一般外来駐車場をご利用いただきますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

福島県立医科大学 事務局総務課管財係
024-547-1017

あなたの健康、見守ります。

福島県では原子力災害による放射線の影響を踏まえ、県民のみなさんの健康を長期にわたり見守っていきます。その基本となるのが「県民健康管理調査」です。

「県民健康管理調査」の内容は、次の5項目です。

- 1 基本調査（問診票による被ばく線量の把握）
- 2 甲状腺検査
- 3 健康診査
- 4 こころの健康度・生活習慣に関する調査
- 5 妊産婦に関する調査

これらの調査は、「福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター」が中心になって、県内、県外の医療・保健・福祉関係者の協力を得て実施しています。前回は「甲状腺検査」についてお知らせいたしましたが、今回は、「甲状腺検査についてのQ&A」（その4）です。

Q 診断に用いた画像や詳しい検査結果、医師による所見は、受診者に交付されるのでしょうか？

A 現在実施している一次検査は集団検診であり、多くの他の方がその場におり、プライバシー保護の観点からも診断結果のご説明は控えております。また、より多くの方が、より早く受診できるように、という理由もあります。さらに、判定（一次検査では良悪性判定ではなく、それより前段階のあくまでもマンツーマンで説明やさらなる検査が必要な方を選別するものです）は後日複数の専門医によるチェックを経て決定し、説明文を加えた結果通知を送付しております。結果通知においては、

説明文書を添付しておりますが、A2判定との通知を受けた保護者等から結果通知の内容が分かりにくいとのご指摘を受け、その内容を刷新しお送りします。この更新された通知書は、先行：平成23年10月～、全県民：平成23年11月～に甲状腺検査を受診し、A2判定の結果通知書が送付された方にも再度発送する予定です。

さらに、二次検査を受診されている方には、診察室において、最初の検査の画像も含めてお示しし、マンツーマンで専門医が丁寧に所見を説明しております。

Q 「チェルノブイリでは子どもの甲状腺がんが多く発症した」とよくニュースで聞くと、福島県は本当に大丈夫なのでしょう？

A 今回の福島原発事故は、よくチェルノブイリの原発事故と比較されますが（原子力安全・保安院が国際原子力事象評価尺度として、同じレベル7として評価しました）、放出された放射線量はかなり少ない（およそ7分の1）とされています。さらに、実際の甲状腺被ばく線量はチェルノブイリと比較し、極めて低いと考えられています。

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

電話：024-549-5130（土日祝を除く9:00～17:00）
メール：kenkan@fmu.ac.jp



すべてを地域のために
東邦銀行

ご利用・お問い合わせは **福島医大病院支店**

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331（受付時間：平日午前9時から午後5時）

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカ シアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

